

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	露語第一（再履）		
英文授業科目名	Elementary Russian I		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	三好 俊介		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
s344@kcf.biglobe.ne.jp	なし

【主題および達成目標】
(1) ロシア文字と発音を、着実にマスターする。 (2) 基本的な単語を覚える。 (3) 名詞や動詞の使用法を中心に、文法の初歩を学ぶ。 (4) よく使う簡単な会話表現を覚え、口に出せるようにする。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書： 桑野隆 「はじめてのロシア語」（第2版） 白水社 辞書： 露和辞典が1冊必要です（持っていない人は、講師が説明しますから、その後に購入してください）。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

教科書に沿って文法を学びますが、教科書にはない簡単な会話表現や、ロシアの文化・社会に関するトピックスも紹介します。負担が過重にならないよう配慮はしますが、小テストや宿題を課す回もあります。

授業では学生諸君に発音したり、訳したりしてもらいますが、間違っても一向に構いませんので、肩の力を抜いて、積極的にレッスンに加わってほしいと思います。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

ロシア語は誰でも習得できますが、そろばんや習字などと同様、コツコツと努力することが大事です。語学の才能は必要ありません。努力すれば、それなりに報われます。

最初のうちは、特に復習に力を入れるとよいでしょう。自分で書いて発音すること。もし時間がなければ、最低限、手すきの時間に教科書をにらんでおくこと。ロシア語と少しでも長く接することが効果的です。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席状況40%、期末試験の成績40%、課題（時折り課す小テストや宿題）の提出状況20%で評価します。

出席は毎回とります（ともかく授業には来ること。休んでしまうと、そのままズルズル.....ということになりがちなので）。

最低達成基準：ロシア語の文字が読め、規則動詞の現在変化が使える、「格変化」の基本的意味を理解していること。

【オフィスアワー：授業相談】

授業後に教室にて。Eメールでも可。

【学生へのメッセージ】

ロシア語は、ロシア連邦や中央アジア諸国など、広大な地域で通用します（なお、上記地域では英語はあまり通じません）。英語とは文字も文法もかなり違う（少々複雑ですが、パズルのような面白さがあります）ので、ゆっくり着実に学びます。近年わが国では、ビジネスや資源開発の分野でロシア語の需要が増してきています。学生時代に素養をつけておけば、将来、仕事や研究において役に立つ機会があるかもしれません。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【その他】
なし